

# ～平成21年度地域リハビリテーション実践交流会アンケート～

## I. 個人について

2010/2/9実施

### 1. 事業所種別

※複数回答あり

回答数63

	参加者数		参加者数
①居宅支援事業所	17	⑥介護老人福祉施設	15
②訪問介護	4	⑦介護老人保健施設	1
③訪問看護	3	⑧介護療養型医療施設	2
④通所介護	11	⑨行政	3
⑤通所リハビリ	5	⑩その他	4

### 2. 職種

※複数回答あり

	参加者数
①セラピスト	6
②看護職	20
③介護職	19
④ケアマネージャー	16
⑤その他	3

### 3. 経験年数

	参加者数
①1年未満	5
②1年～3年未満	9
③3年～5年未満	11
④5年以上	38

## II. 研修会内容について

### 4. 講演について「明日から使えるリハビリテクニック」

	参加者数
①とても参考になった	35
②参考になった	28
③あまり参考にならなかった	0
④全く参考にならなかった	0

〔具体的にどのような点についてですか？〕

※別紙参照

### 5. 実践報告・交流会について(3事業所からの報告とフロア発表)

	参加者数
①とても参考になった	17
②参考になった	42
③あまり参考にならなかった	2
④全く参考にならなかった	0
未記入	2

〔具体的にどのような点についてですか？〕

※別紙参照

### Ⅲ. 今後について

6. 今後も地域リハビリテーション実践交流会の開催を希望されますか。

	参加者数
①希望する	58
②希望しない	0
③どちらでもよい	5

7. その他、今度講習会で取り組んで欲しいテーマ、本日の感想、日々の業務の中での問題点などがあればお聞かせください。

※別紙参照

#### 4. 講演「明日から使えるリハビリテクニク」について

【具体的にどのような点についてですか？】

- ・痴呆の3分類、居場所と役割を作る3条件など、勉強になりました。
- ・「居場所」作り…長く入所されていても1日の中で居場所や役割がご本人にわかっていない所があるのでその人なりの役割を探してあげたいと思った。
- ・生活動作毎のポイントやその人らしさを引き出し、元気にする。居場所と役割をつくる大切さ。
- ・時には病院の延長型リハビリになることがありました。しかし話を聞き、来所されたときだけを見るのではなく、自宅での生活を含め、生活行為こそがリハビリということを再度認識できました。
- ・生活が基本であることを再確認できた。その人を見ることの大切さを感じた。自らも元気でないと！！と思いました。
- ・リハビリとは何なのか？障害と生活を常に一緒に考えながら支援することの大切さを改めて実感しました。
- ・どの発表に対しても今日からでも使える技術や考え方がたくさんありました。「居場所、役割作り」をしっかり頭において今日からいかしたいと思います。
- ・日常生活の中でのリハビリは身体へのかかわりに留まらず、できる事をしてきた様に出来るよう係わる事で精神へのリハビリ効果は大きい。
- ・食事、排泄、入浴介助での視点や捉え方。以前にも何度か見たり聞いたりしてきましたが、改めて原理原則として納得が得られました。
- ・ケアスタッフや家族様にアドバイスの方法、仕方を学びました。先生の講演全般すぐにでも使えるケアの方法が盛りだくさんでも勉強になりました。
- ・居場所と役割について、とても参考になりました。面接のとき、ぜひその視点で行っていこうと思いました。
- ・立ち上がり、片麻痺の拘縮予防は必要か。
- ・具体的な点、視点での内容で明日から利用できる気がする。
- ・何の為にリハビリを行うのか、その方にとってリハビリとは何の意味を持つのか、考えさせられました。
- ・ベースが速かったの少しづついきにくい所があったが、内容はとつきにくさもなく楽しく勉強でき、為になったと感じました。
- ・リハビリというと、体を動かすことしか頭になかったのですが、色々な視点があるのだと分かりました。
- ・食事、入浴、排泄はすべてこの姿勢が基本。背もたれから背中が離れる姿勢。
- ・利用者の動作をよく見るということについて勉強になりました。
- ・リハの具体例。 ・レクレーションの具体例。
- ・私の好きなマシンを使わない生活に生かせるリハビリだったから明日から取り入れたいリハビリがたくさん聞けた。大切な事は何なのか建物のせいにしてあきらめていたことが多くできることもたくさんあるなど思わされた。
- ・居場所がなくなり小さくなっていくのではなく、居場所を作って生きがい作り。
- ・生活援助の動作がリハビリにつながっていくという、目的が明確になりました。
- ・個浴や食事姿勢の取組について、具体的な話が聞けたこと。
- ・技術的なことも大切ですが「居場所と役割をつくる」事がとても大切だということ。リハビリの面からだけではなく、いろんな場面でその視点を持って利用者に関わりを持ちたいと思います。
- ・生活動作の一つ一つが、リハビリになることがよく理解できた。10対0の介助ではなく、介助は補助的な動作の支えのみで行うことがリハビリになるということが大変よく理解できた。
- ・基本に戻り生活動作を見つめ直すこと。
- ・プレゼンテーションの息抜きの仕方は良かったです。(財前先生は素晴らしかったです)
- ・介護方法を忘れていた部分があり、毎日、介護員をして働いていた頃がなつかしくなった。
- ・利用者様の力を活かした介助をしているつもりでも、介護者側が無意識に介護しすぎていることもあるなど、後方介助の仕方等から感じました。
- ・とても分かり易かった。自身が他職種に伝える場合の伝え方を学ばせていただいた。
- ・リハビリ。満たすものをみつけてあげる。
- ・わかりやすくまとめ、資料もあったのでわかりやすく日々の中に取り入れていけそうな所です。
- ・生活の場でのリハビリが病院のリハの延長になってしまう…確かにそういう発想になりがちな自分に気付かせてもらいました。
- ・その人の居場所を作ることが大切。
- ・リハビリ…となるとPT・OTの専門職が取り組むものだと考えていたが、「生活行為に勝る訓練なし」という合い言葉で明日から御利用者に合わせて生活リハを実践して行こうと前向きに取り組む気持ちになった。
- ・背もたれから離す～差尺のチェックをしなげらえん下等の改善につなげたい(姿勢の再チェック)、介助の方法～立入禁止ゾーン、認知症～居場所と役割をつくる→3条件の応用、工夫することの方法
- ・拘縮した腕についてのケアの三原則など、すべて引き込まれるような講演でした。
- ・同一法人内の訪問介護事業所の利用者さんの日々のケアの中で、起き上がり、立ち上がりの介助に役立ちますし、意識の持ち方の変革に参考になると思います。
- ・プランを立てる上で、参考にさせてもらって、利用者さんが自分の力で動ける部分を見逃さないようにしていきたい。
- ・認知が強い利用者とか介護度3以上の施設でリハビリは難しいのですが、そのような利用者のリハビリをもう少し発表してもらいたかった。
- ・個別な対応。その人が出来ること、居場所があること。
- ・トイレのフンパールや浴槽のスライド台などすぐに使いたい用具も多々あり、現在10-0介護になりかねない現状というものに改めて気付かされました。個々の生活スタイルに根ざしたリハビリでないと意味も効果もないと思いつつ、個別リハもマンネリ化しています。
- ・人の問題点に注目しすぎではないか？その人らしさを引き出し、元気にする介護を行う。
- ・その人の生活習慣を考えた生活リハビリの必要性。その人の個性を引き出すことの大切さ。
- ・個別リハ・レクへの取り組み。居場所、役割作りの3条件を真剣に考えていこう。
- ・デイサービス(日常生活)でリハビリができると確信しました。
- ・個々の人格を尊重しながら生活の基本的なところからアプローチしていくことが、残されたQOL向上につながり人間らしさを維持できること。
- ・症例を挙げて詳しく説明してもらってよかったです。
- ・日々、思考の連続ですが、在宅の場合は情報が少なく、現場のスタッフに細かく伝えて行くのが大変難しいですが、現場の声の届くシステムが大事である事がわかった。
- ・専門分野にて、裏付け、科学的な証明を大切だと思い、介護も科学出来るのでは考えていましたが、人類には芸術も文化も科学も含まれる、の言葉に気付かされ、また、臨床で考えてみたいと思います。
- ・日々の活動で全員が前向きに取り組む現在又は今後に向けて、色んな工夫、改善、成功例が多々あり、参考になりました。



## 5. 実践報告・交流会について(3事業所からの報告とフロア発表)

【具体的にどのような点についてですか？】

- ・年齢がいても体操は必要であり、効果があるということがよくわかりました。
- ・デイでは、集団→個別への取り組みが進んできていると感じました。
- ・現場でのもどかしさ、難しさは実感するところがありました。1つ1つ経験してみて、同じゴールを目指す同志として同じ職場でも頑張っていけたら良いなと思いました。
- ・他の施設での色々な努力をされていることを知ることが出来ました。「無理」と言うことは簡単ですが、前向きに取り組む姿勢、努力したことがより利用者に伝わるんだ(自分にも返ってくるんだ)…ということがよくわかりました。
- ・ハーティの松田さんのお話で個別リハへの転換に大変興味を持ちました。1年ほど前にわが職場でも「個別レクを～」との声が上がりましたが、スタッフの知識レベルの低さ、又、スタッフ人数、入浴介助に人員を取られるなど業務の都合上集団レクのままでしたが、午前入浴までの時間をもっともっとうまく使い中身の濃い時間を過ごしてもらってアイデアをいただきありがとうございます。
- ・ハーティ様の取組内容、とても参考になりました。
- ・寿荘様の発表は、当院で悩んでいるテーマの発表でした。持ち帰り、どのようにケア技術の向上について取り組んだらよいか、参考にさせていただきながら皆で考えたいと思います。
- ・レクレーションの取組内容、当施設でも参考にしたいと思います。
- ・レクレーションの内容。
- ・デイサービスのスタッフと一緒に聞くことが出来たらもっとよかったのに…と残念でしたが、私どもが帰ってうまく伝えることも大切ですね。
- ・ケアマネとしてどう判断し、情報を共有し、その方らしさを引き出していけるか改めて考えさせられました。
- ・骨盤底筋体操は効果にビックリしました。個別RHもやってみたいと思いました。寿荘は、正直私の施設も同じ問題に直面していて本当に同じく疲れきっているような感じです。介護マイスター制度は取り入れては？という意見があるまま放置しているので、もう一度声を上げていきたいと思いました。
- ・色々な取組をされていることが知れて良かった。どの施設も失敗したり改善したりを繰り返して実践されているのは同じだなと共感しました。
- ・個別リハへの取組を行い、利用者様のリハへの意欲を向上させることができたこと。
- ・骨盤底筋体操
- ・疲れきった介助者に対する、状況への取り組みが参考になった。
- ・個別レクの内容。
- ・同じ悩みを持っておられる施設がたくさんあって、その対策、解決策を知り参考になりました。目からウロコで気付かされたこともたくさんありました。
- ・毎日のくり返しによる成功例、個別リハ対応での居場所作り。
- ・寿荘さんの現状は、当施設が抱える問題と全く同じで、介護マイスターの取り組みについては興味を持ちました。骨盤底筋体操やハーティさんの取り組みも余暇活動を充実させたいと考えてもいたのでとても参考になりました。
- ・骨盤底筋体操は在宅の方にもすすめられそうです。
- ・岸本病院デイサービスの実践報告について、今までのデイのあり方を覆す素晴らしい取り組みをされていると感じた。松本先生のおっしゃっていた生活リハビリが全て活かされているプログラムであり、とても勉強になりました。
- ・レクレーションのアプローチ。 ・介護マイスター制度。
- ・御利用者の元気が職員の喜びにつながっている事が確認できた為。
- ・他の事業所さんの取組を聞かせていただく良い機会となりました。
- ・寿荘のより具体的な提案と変化を教えてください。
- ・特養の現状。介護マイスター制度。
- ・わかりやすくまとめて報告して下さいましたので、今後取り入れていけるような物があつた。
- ・その事業所も、なるほど！と思う取組をされていました。中でも、寿荘の発表は心に残りました。それは、形でなく、本当の心から発する本音の言葉で語られているからだと思います。
- ・パネル体操は取り組んでみたい。
- ・他施設でのレク内容は大変興味があり、当施設でのレクのマンネリ化を解消され参考になった。
- ・尿漏れ防止は参考になった。タイムリーに助言したい。動きを促すデイ～個別レクの内容は参考になった。大きな施設の中の改善活動の取組～思考錯誤しながら前に進んでおられる様子は参考になった。※リハの実地支援の活動
- ・集団→個別は参考になった→リスクはなかったのか？！
- ・在宅のCMとして、利用者さんにすぐに使えることでコミュニケーションも取れ、リハビリにもなる。
- ・直接自分の仕事にすぐにあてはまることではないと思うけれど、熱い思いが伝わって感化されました。
- ・利用者の尊厳を守る支援が必要で、子供みたくないレクは必要ではないのでは？
- ・みんなが同じ介護を提供できる。介護職員が目標を持つ(意識改革)。
- ・介護者が共通の認識と技術を持ってケアすることの必要性は日々感じているが、その場限りの統一になってしまい継続しない。マイスター制度はすごいことだと思う。
- ・個別リハ…利用者さんが選べる簡単で単純なこと。
- ・現場の職員から負担の少ない介護に取り組もうとする姿勢が見られたこと。利用者をしっかり見ていくこと。
- ・個別リハにすることで、個別の能力に合わせ得意分野を大切にすることが出来る。個別性を出していくことが出来る。骨盤底筋群の体操の正しいやり方が理解できた。
- ・個別リハ、レクへの取り組み。
- ・頑張っておられる施設がある事がわかりました。
- ・他の施設も同じ様な悩みがあるのが分かった。
- ・骨盤底筋体操について、効果について。個々の機能Ex、レク、スライディングシートなど。
- ・認知における知識がわかりやすかった。葛藤型、回帰型、遊離型。
- ・各施設で何かに取り組み形が出来るのは、チームワークと意識向上の結果です。今、施設にそれが無いので私1人がこの講義を聞いていても仕方がない。多くの現場スタッフに出席してもらいたいと思います。
- ・取り組んでいけそうなことをしていきたい。

## 7. その他、今度講習会で取り組んで欲しいテーマ、本日の感想、日々の業務の中での問題点など

### 【本日の感想】

- ・発表させていただき、大変勉強させてもらいました。ありがとうございました。保健師内海さん、大変お世話になりました。松本先生のお話をもっと聞いてみたいと思いました。
- ・在宅での援助をするにあたり、元気を出してまた係わりとういう気持ちになる講習会でした。
- ・その他のことですが、マイクの調子が気になり聞きづらかったです。
- ・松本先生の話もう少し多く伺いたかった。
- ・実践交流で話を聞けるのは大変貴重でした。
- ・まだまだ他事業所さんたくさんの取り組みを行ってられると思いますが、施設見学等行うことで知り得ることができるものと思いますが、それもなかなか難しい…。今日のような交流会をたくさん開いてもらうことにより、テーマなど特に決める必要なく知りたいです。
- ・少ない時間しかないので最初の歌の時間を短くすれば講演や実践発表に時間をかけられるのではないかと。長すぎたと思う。
- ・評価をされるPTの先生(福知山市民のPT)(舞鶴日赤のPT)の参加が良かった。
- ・自分たちの職場に何が足りないのか、何が必要なか少しわかった気がします。持って帰って意見を出し合いたいと思います。
- ・参加させてもらうにあたって、施設や事業所さんとの交流も考えていたのですが、誰が誰か分からず、声をかけ難く、参加者間でのコミュニケーションがとりづらかったです。
- ・講演、とても楽しく聴かせていただきました。ありがとうございました。
- ・各々の施設での取り組みがよくわかり、非常に良かったです。
- ・ただ介護、介助していただくだけではなく、生活の中の動作や取り組みの中で楽しみや生きがいを見つけていくことが大切であると感じました。岸本病院のデイサービスさんのお話をもっと聴きたかったです。今後参考にさせて頂きたく思っております。
- ・それぞれ、その人にあった物作りやみんなで1つの物を作るときに1人1人にパートを持ってもらってやりとげる、認知の人のかわり方や、とても勉強になりました。また参考にさせていただいて、やって行きたいと思います。ワイワイと言う種類の中で何かやって行けたらいいと思います。
- ・「してあげる」介護ではなく、「できることはやってもらう」「もっている力を出せる」ことも大事だと感じました。
- ・最初の歌はいい。やるなら御利用者を交えて出来るリズム体操を紹介した方が現場で活用できると思った。また、立ち上がりのリハビリ訓練があれば是非参加したい。
- ・利用者様をもっとよく見てかかわろうと思います。
- ・講習会はとても為になり勉強になりましたが、時間内に終了しなかつたのが残念です。(終了後、施設に戻り業務がありますので…)
- ・今後とも今回のような研修会があれば良いと思います。介護職員ももっと自信を持って仕事(発言)しましょう！現場の職員の意識を高めることが大切だと思います。トップダウンではダメ、意識改革(介護職員も)上司、管理者も。利用者さんを中心に考え、その人らしさを引き出す為にはどうすれば良いかを自分達で考えていければ意識が高められると思います。北部でも自分達から意識改革に取り組まれている施設があることをうれしく思います。古い体質から抜け出すのは大変だと思いますが、その人らしさを引き出すために頑張りましょう。
- ・日赤RHのPTさんにはいつもお世話になっています。個別リハをしているPTもいますので、これからも御指導宜しくお願いします。
- ・在宅、施設、家族、共々のチームケアで、あきらめていた方々が自立へ向けて人間らしく生活できる可能性があるという事を感じました。他事業所との交流の重要も共に感じました。ありがとうございました。

### 【取り組んで欲しいテーマ】

- ・リハビリの実技指導、実演。
- ・具体的実践例を多く聴かせてもらえるとありがたいです。
- ・遠方の有名な方より近いところで素晴らしい取り組みをされている方のお話をいろいろ聞きたいです。
- ・特養でのRHを取り組んでおられる施設の報告が聴きたかった。
- ・車イスのシーティングや臥床時のポジショニングについての研修会を希望します。
- ・ディスカッション形式を増やしていただくようお願いします。
- ・リハビリについての基礎知識について。
- ・居場所と楽しみ作り(特に男性)について。
- ・松本先生の話をもっと聴いてみたいです。
- ・具体的な生活のリハビリの方法をもっと知りたい。
- ・実践形式で、講習含め行って欲しいです。もっと認知の方の勉強も希望します。(時間が少なかつたので、せめて午前と午後と一日で、が希望です。)ありがとうございました。